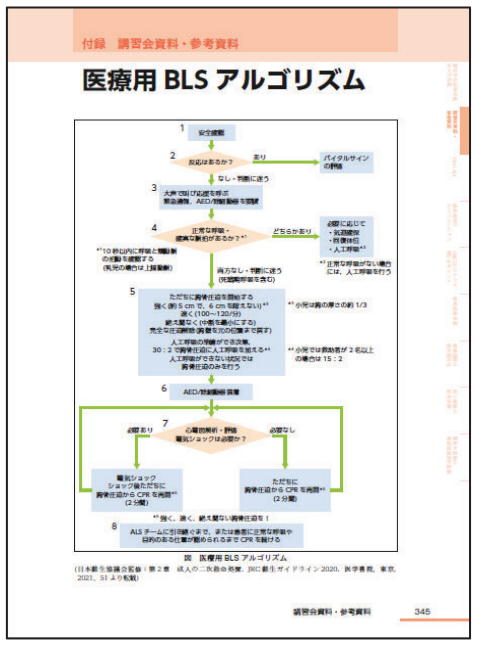
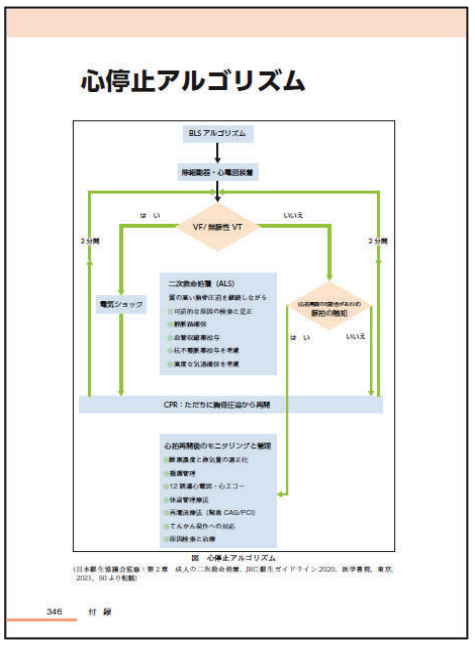
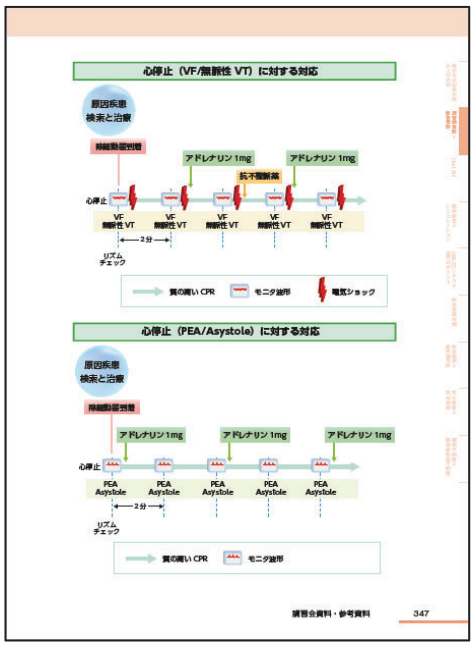
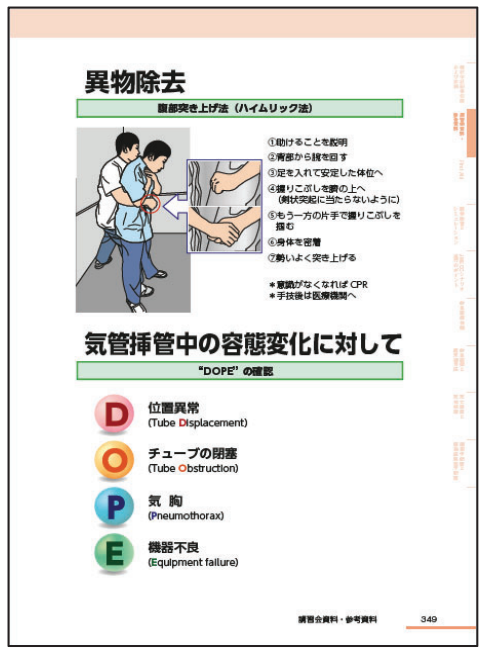
JMECC講習会用ポスター一覧

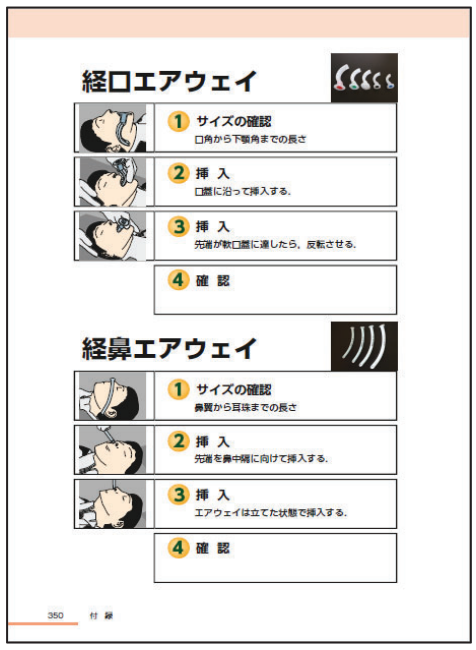


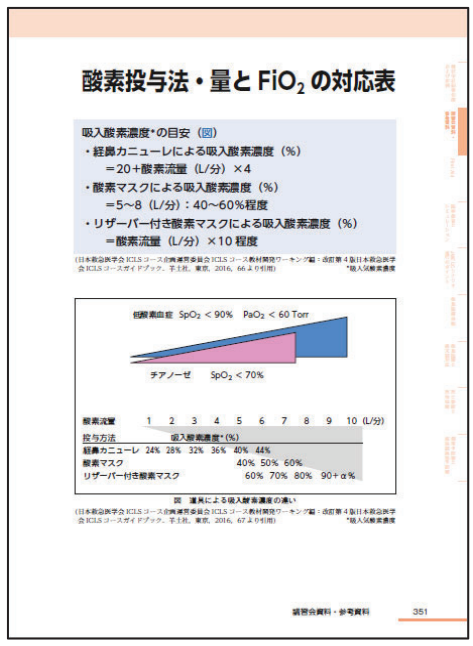


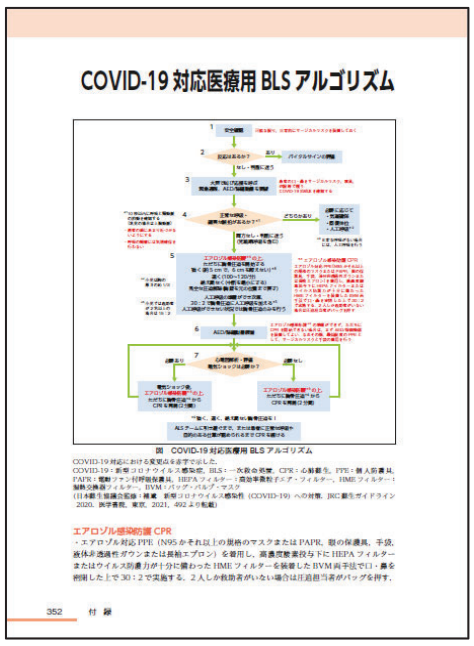


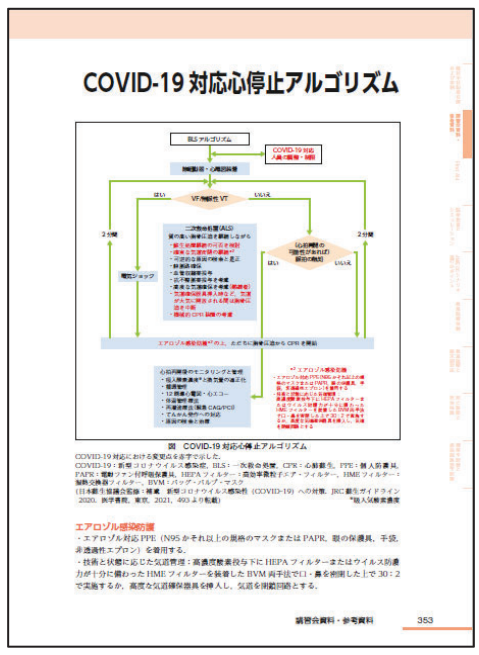


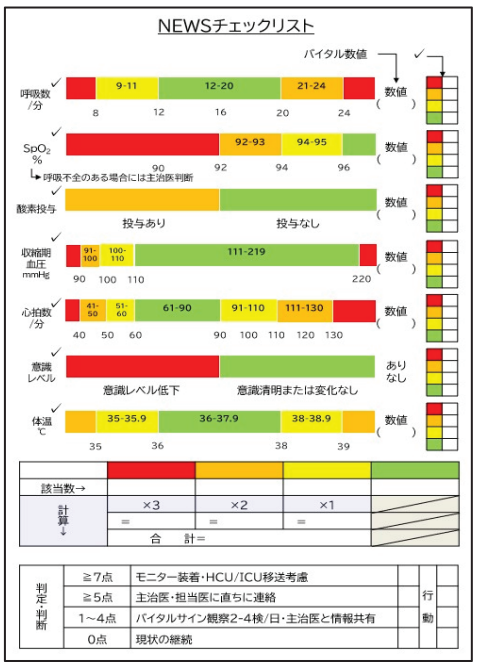


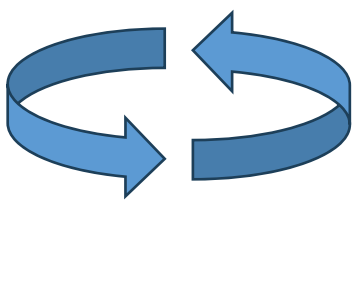


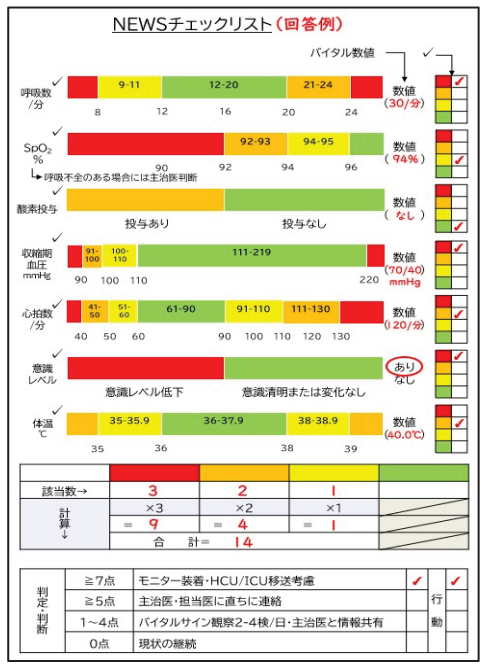












ISBAR

項目			例示
I	introduction/ identification	自己紹介	担当看護師の〇〇です。
S	situation	状　況	病棟の患者さんが発熱と意識レベルの低下を認めます。
B	background	背　景	この方は3日前に腰椎圧迫骨折で入院した60歳女性です。
A	assessment	評　価	NEWS 14点で緊急性があると考え、RRSを起動します。
R	recommendation	提　案	RRT として診察をお願いします。

NEWS（National Early Warning Score）

スコア	3	2	1	0	1	2	3
呼吸数（回/分）	≦8		9-11	12-20		21-24	≧25
SpO_2（%）	≦91	92-93	94-95	≧96			
酸素投与		あり		なし			
収縮期血圧（mmHg）	≦90	91-100	101-110	111-219			≧220
心拍数（回/分）	≦40		41-50	51-90	91-110	111-130	≧131
意識レベル				変化なし			低下
体温（℃）	≦35		35.1-36.0	36.1-38.0	38.1-39.0	≧39.1	

（各点数における、対応についての参考基準）
≧7点 モニタ装着・HCU/ICU移送考慮、RRTに連絡　≧5点 主治医・担当医に連絡
≧1～4点 バイタルサイン観察2～4検/日・主治医と情報共有　0点 現状の継続

医療用 BLS アルゴリズム

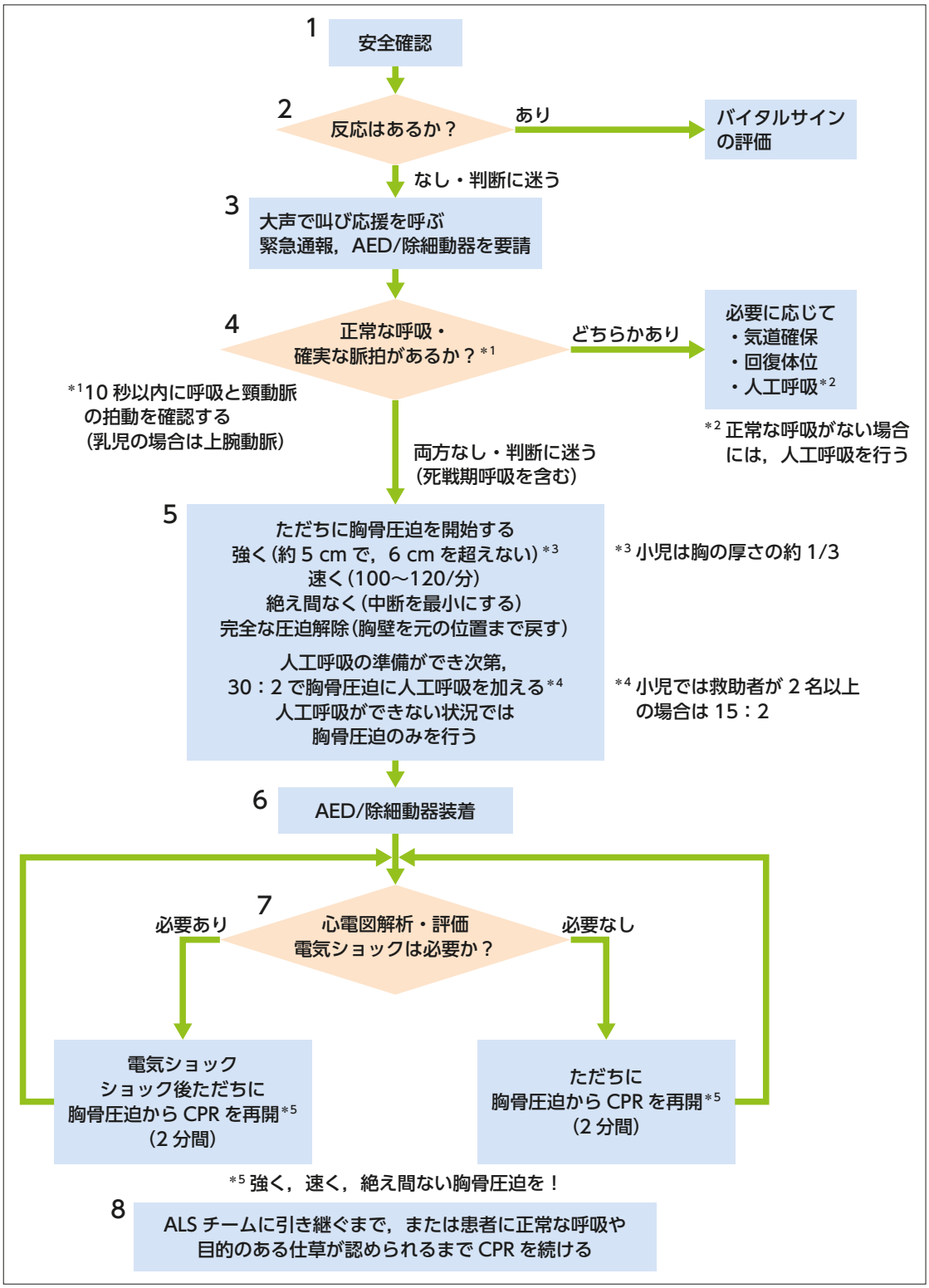


図　医療用 BLS アルゴリズム

（日本蘇生協議会監修：第 2 章　成人の二次救命処置．JRC 蘇生ガイドライン 2020．医学書院，東京，2021，51 より転載）

心停止アルゴリズム

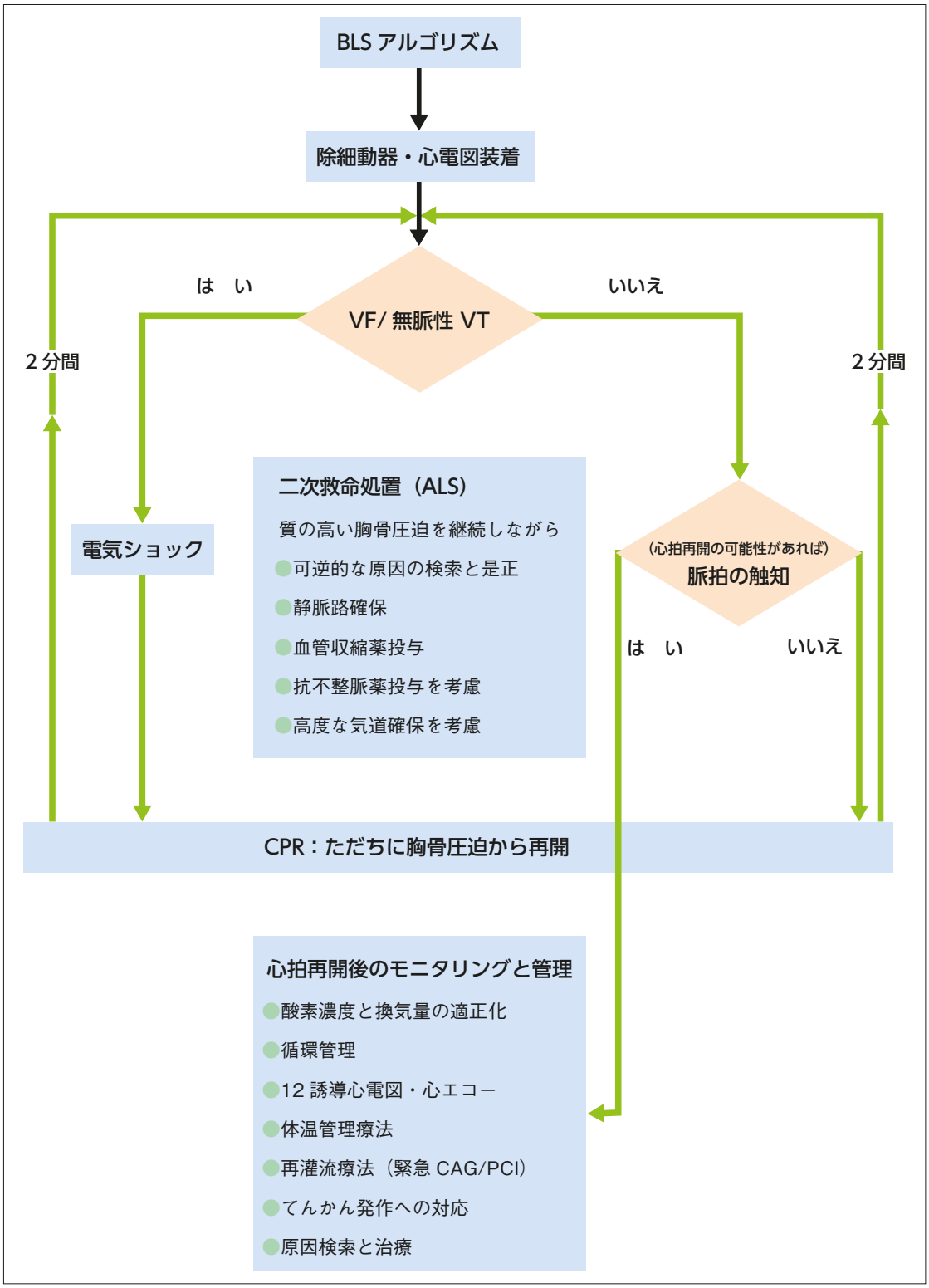
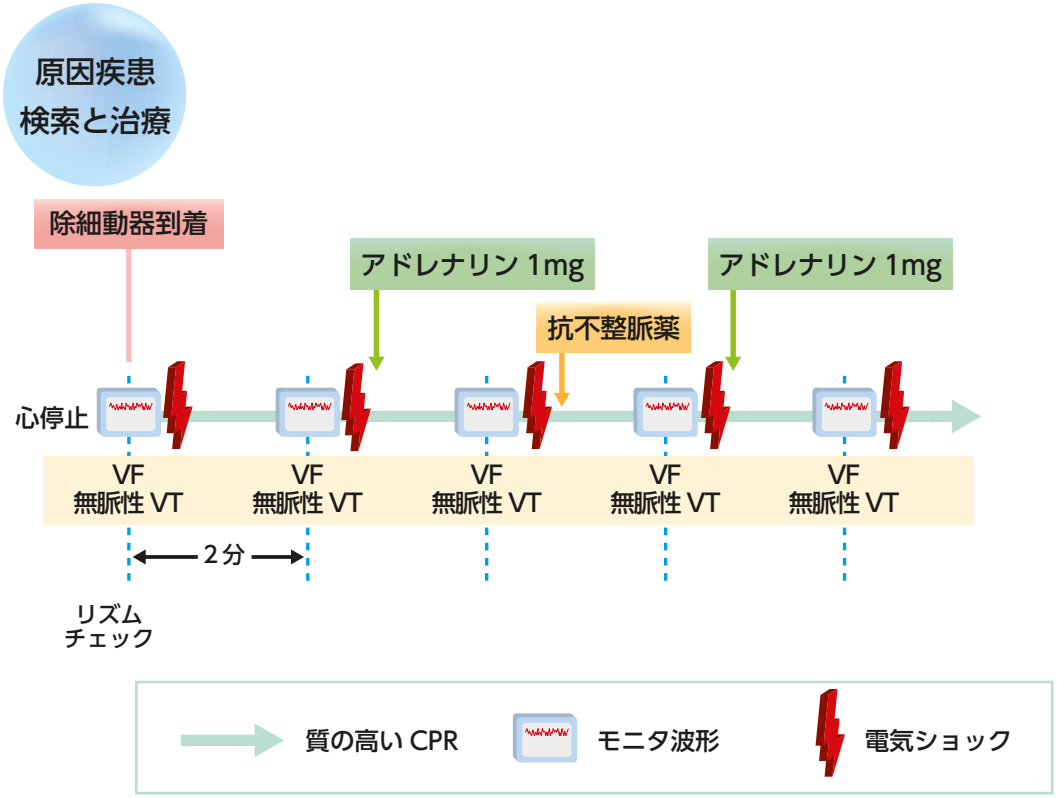


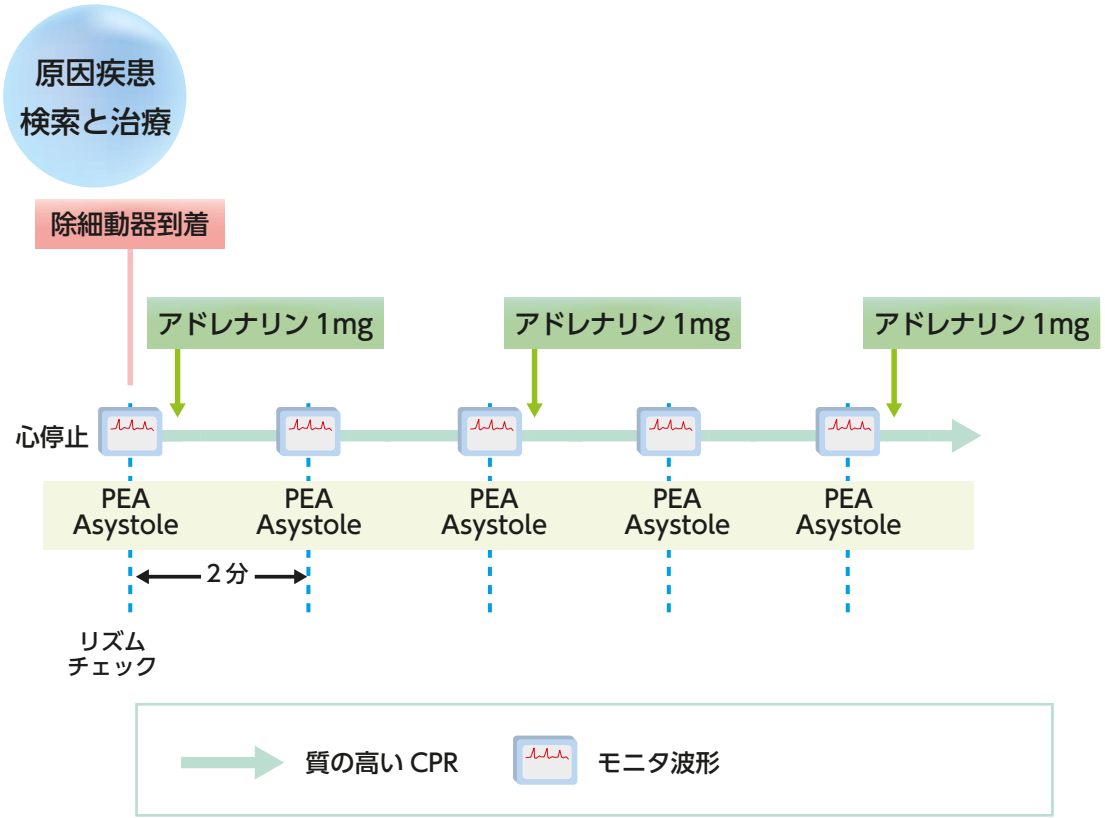
図　心停止アルゴリズム

（日本蘇生協議会監修：第 2 章　成人の二次救命処置．JRC 蘇生ガイドライン 2020．医学書院，東京，2021，50 より転載）

心停止（VF/無脈性 VT）に対する対応



心停止（PEA/Asystole）に対する対応



原因疾患と治療

原　因	治　療
循環血液量低下 **(Hypovolemia)**	容量負荷
低酸素血症 **(Hypoxemia)**	気道確保，適切な換気・酸素化
アシドーシス **(Hydrogen ion)**	炭酸水素ナトリウム投与，適切な換気
低体温症 **(Hypothermia)**	復温，加温輸液…
高カリウム血症 **(Hyperkalemia)**	グルコン酸カルシウムまたはカルシウム製剤， 炭酸水素ナトリウム投与，グルコース・インスリン療法
低カリウム血症 **(Hypokalemia)**	カリウム製剤投与
心タンポナーデ **(Tamponade)**	心膜穿刺(心嚢穿刺)
薬物中毒 **(Toxins)**	解毒薬・拮抗薬の投与
緊張性気胸 **(Tension Pneumothorax)**	胸腔穿刺
心筋梗塞 **〔Thrombosis (heart：acute massive MI)〕**	再灌流療法
肺血栓塞栓症 **〔Thrombosis (Lungs：massive PE)〕**	血栓溶解療法，外科的血栓除去術

異物除去

腹部突き上げ法（ハイムリック法）



①助けることを説明
②背部から腕を回す
③足を入れて安定した体位へ
④握りこぶしを臍の上へ
（剣状突起に当たらないように）
⑤もう一方の片手で握りこぶしを掴む
⑥身体を密着
⑦勢いよく突き上げる

＊意識がなくなれば CPR
＊手技後は医療機関へ

気管挿管中の容態変化に対して

“DOPE”の確認

D **位置異常**
(Tube **D**isplacement)

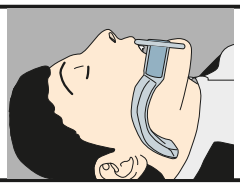
O **チューブの閉塞**
(Tube **O**bstruction)

P **気　胸**
(**P**neumothorax)

E **機器不良**
(**E**quipment failure)

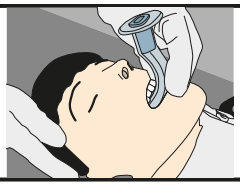
経口エアウェイ





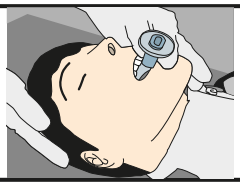
1 サイズの確認

口角から下顎角までの長さ



2 挿　入

口蓋に沿って挿入する.



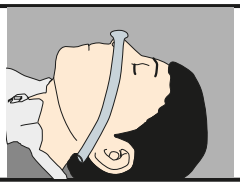
3 挿　入

先端が軟口蓋に達したら，反転させる.

4 確　認

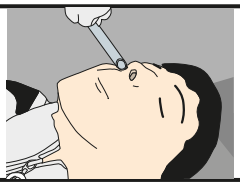
経鼻エアウェイ





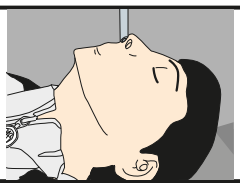
1 サイズの確認

鼻翼から耳珠までの長さ



2 挿　入

先端を鼻中隔に向けて挿入する.



3 挿　入

エアウェイは立てた状態で挿入する.

4 確　認

酸素投与法・量と FiO_2 の対応表

吸入酸素濃度*の目安（図）

- 経鼻カニューレによる吸入酸素濃度（%）
  ＝20＋酸素流量（L/分）×4
- 酸素マスクによる吸入酸素濃度（%）
  ＝5～8（L/分）：40～60%程度
- リザーバー付き酸素マスクによる吸入酸素濃度（%）
  ＝酸素流量（L/分）×10 程度

（日本救急医学会 ICLS コース企画運営委員会 ICLS コース教材開発ワーキング編：改訂第 4 版日本救急医学会 ICLS コースガイドブック．羊土社，東京，2016，66 より引用）
*吸入気酸素濃度

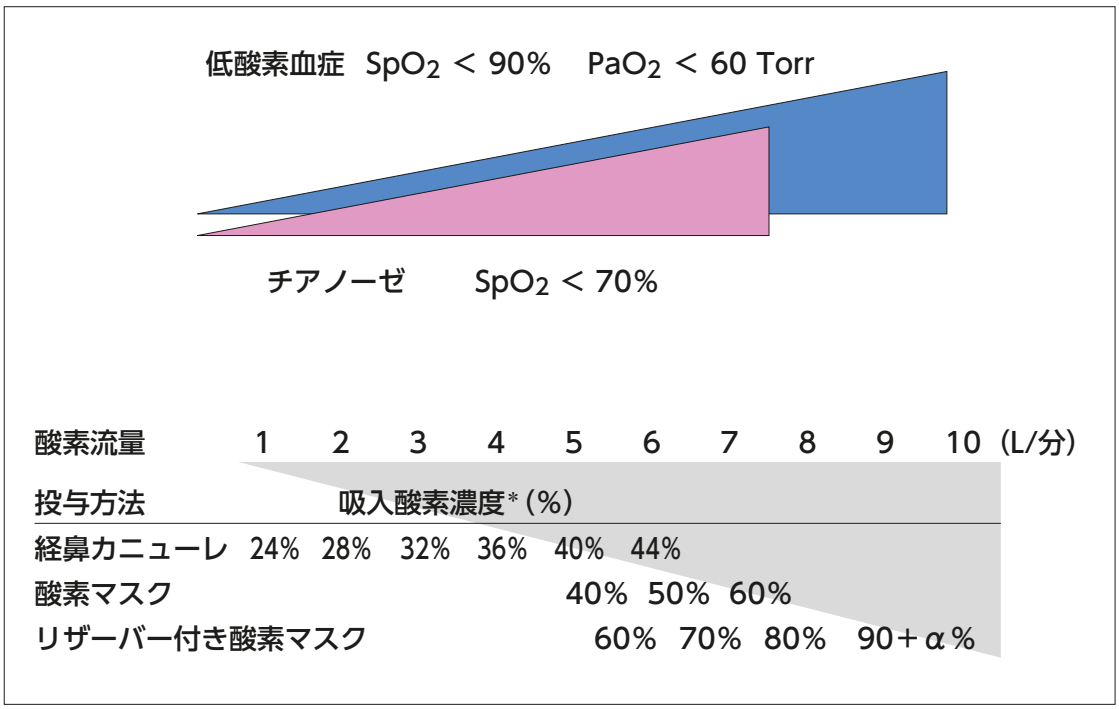


図　道具による吸入酸素濃度の違い

（日本救急医学会 ICLS コース企画運営委員会 ICLS コース教材開発ワーキング編：改訂第 4 版日本救急医学会 ICLS コースガイドブック．羊土社，東京，2016，67 より引用）
*吸入気酸素濃度

COVID-19 対応医療用 BLS アルゴリズム

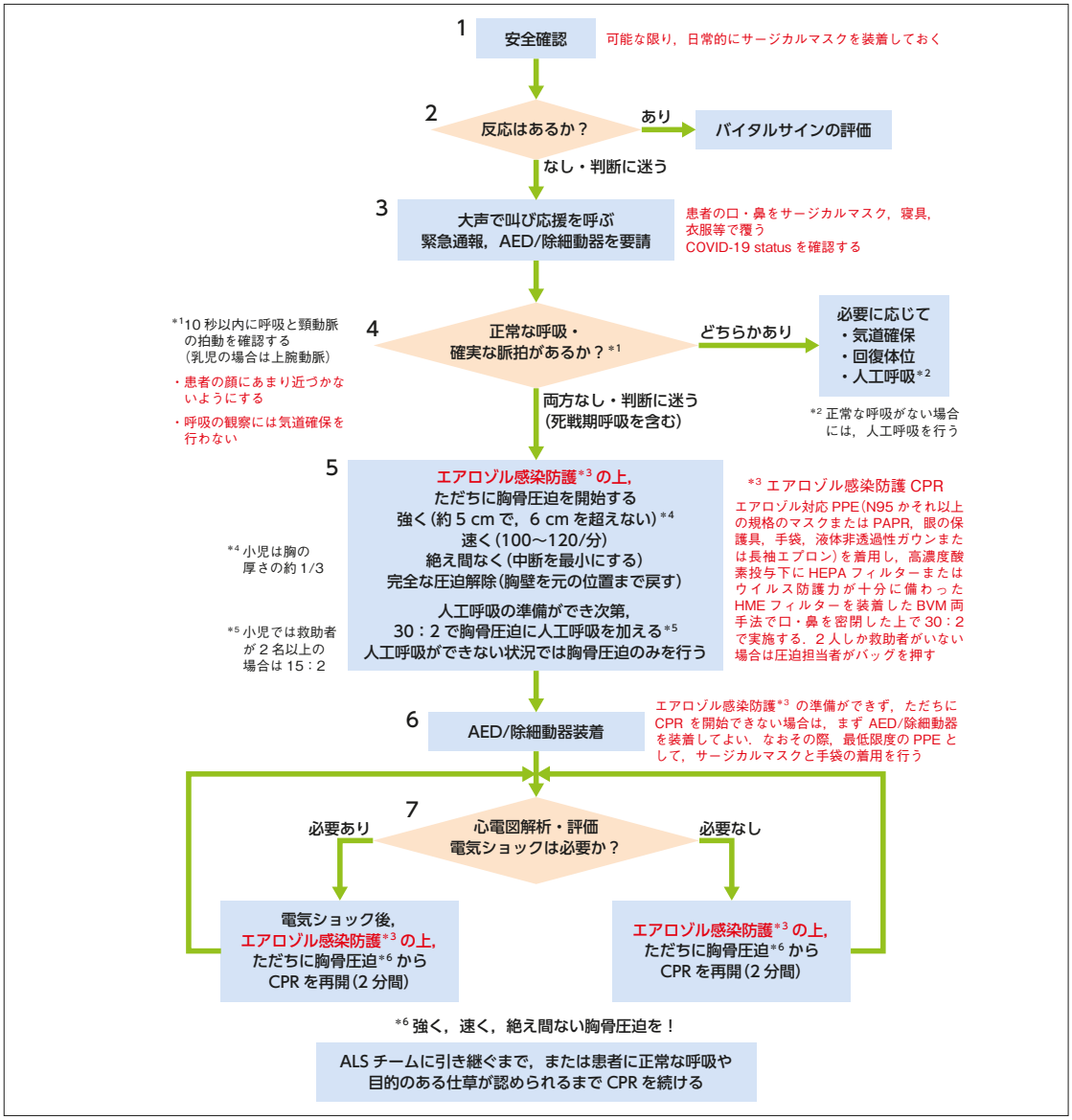


図　COVID-19 対応医療用 BLS アルゴリズム

COVID-19 対応における変更点を赤字で示した．
COVID-19：新型コロナウイルス感染症，BLS：一次救命処置，CPR：心肺蘇生，PPE：個人防護具，PAPR：電動ファン付呼吸保護具，HEPA フィルター：高効率微粒子エア・フィルター，HME フィルター：温熱交換器フィルター，BVM：バッグ・バルブ・マスク
（日本蘇生協議会監修：補遺　新型コロナウイルス感染性（COVID-19）への対策．JRC 蘇生ガイドライン 2020．医学書院，東京，2021，492 より転載）

エアロゾル感染防護 CPR

・エアロゾル対応 PPE（N95 かそれ以上の規格のマスクまたは PAPR，眼の保護具，手袋，液体非透過性ガウンまたは長袖エプロン）を着用し，高濃度酸素投与下に HEPA フィルターまたはウイルス防護力が十分に備わった HME フィルターを装着した BVM 両手法で口・鼻を密閉した上で 30：2 で実施する．2 人しか救助者がいない場合は圧迫担当者がバッグを押す．

COVID-19 対応心停止アルゴリズム

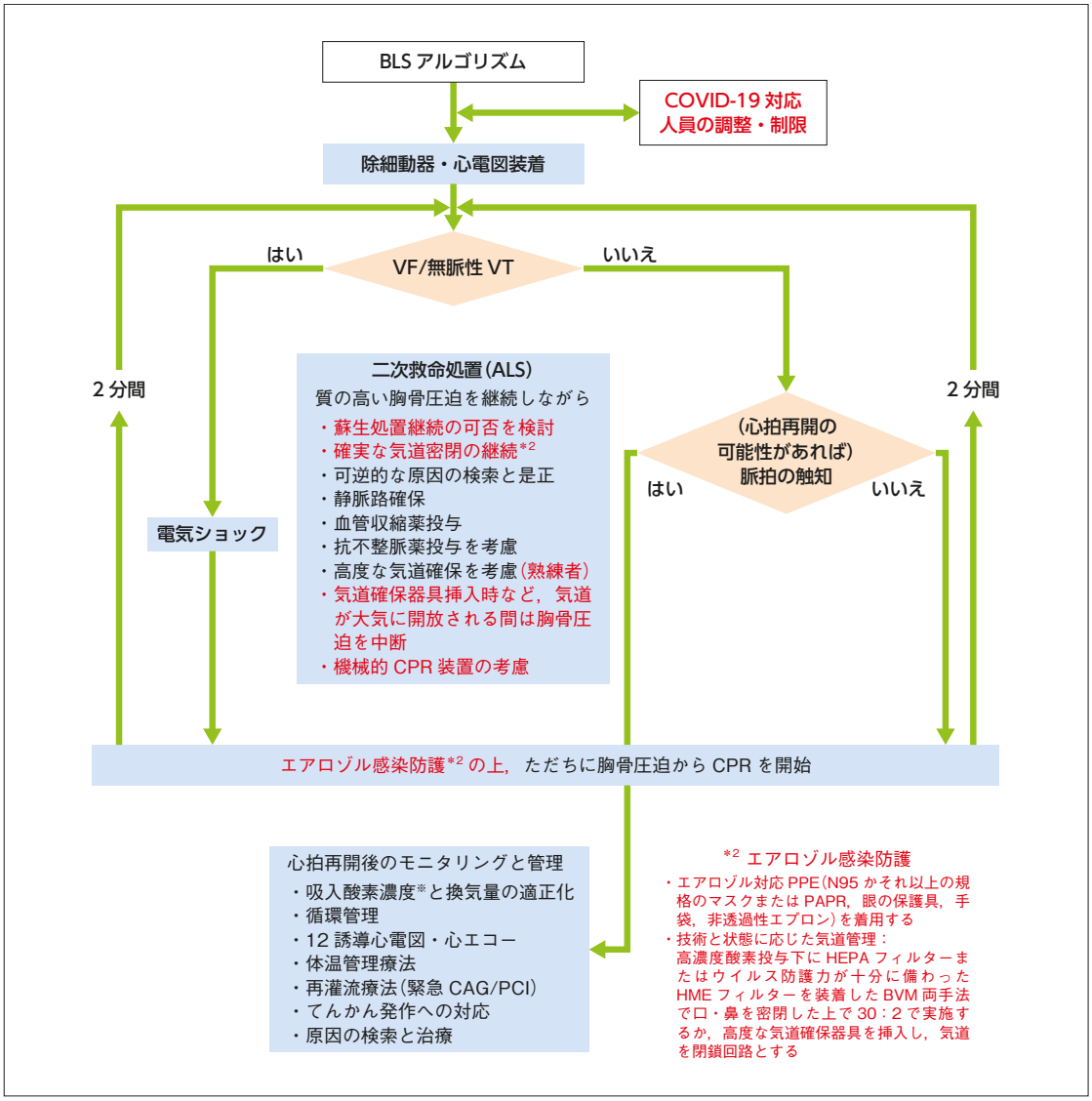


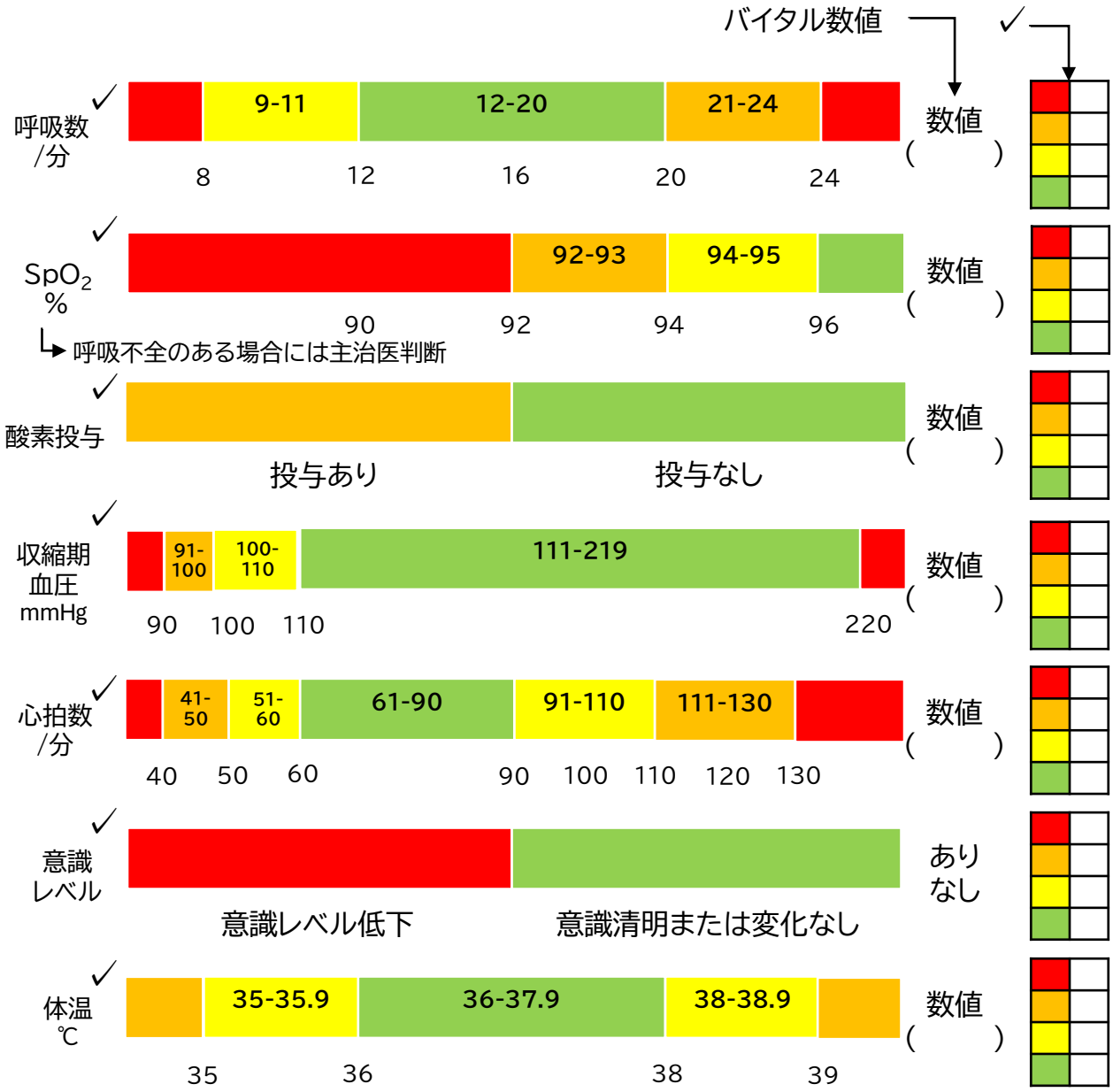
図　COVID-19 対応心停止アルゴリズム

COVID-19 対応における変更点を赤字で示した．
COVID-19：新型コロナウイルス感染症，BLS：一次救命処置，CPR：心肺蘇生，PPE：個人防護具，PAPR：電動ファン付呼吸保護具，HEPA フィルター：高効率微粒子エア・フィルター，HME フィルター：温熱交換器フィルター，BVM：バッグ・バルブ・マスク
（日本蘇生協議会監修：補遺　新型コロナウイルス感染性（COVID-19）への対策．JRC 蘇生ガイドライン 2020．医学書院，東京，2021，493 より転載）
※吸入気酸素濃度

エアロゾル感染防護

・エアロゾル対応 PPE（N95 かそれ以上の規格のマスクまたは PAPR，眼の保護具，手袋，非透過性エプロン）を着用する．
・技術と状態に応じた気道管理：高濃度酸素投与下に HEPA フィルターまたはウイルス防護力が十分に備わった HME フィルターを装着した BVM 両手法で口・鼻を密閉した上で 30：2 で実施するか，高度な気道確保器具を挿入し，気道を閉鎖回路とする．

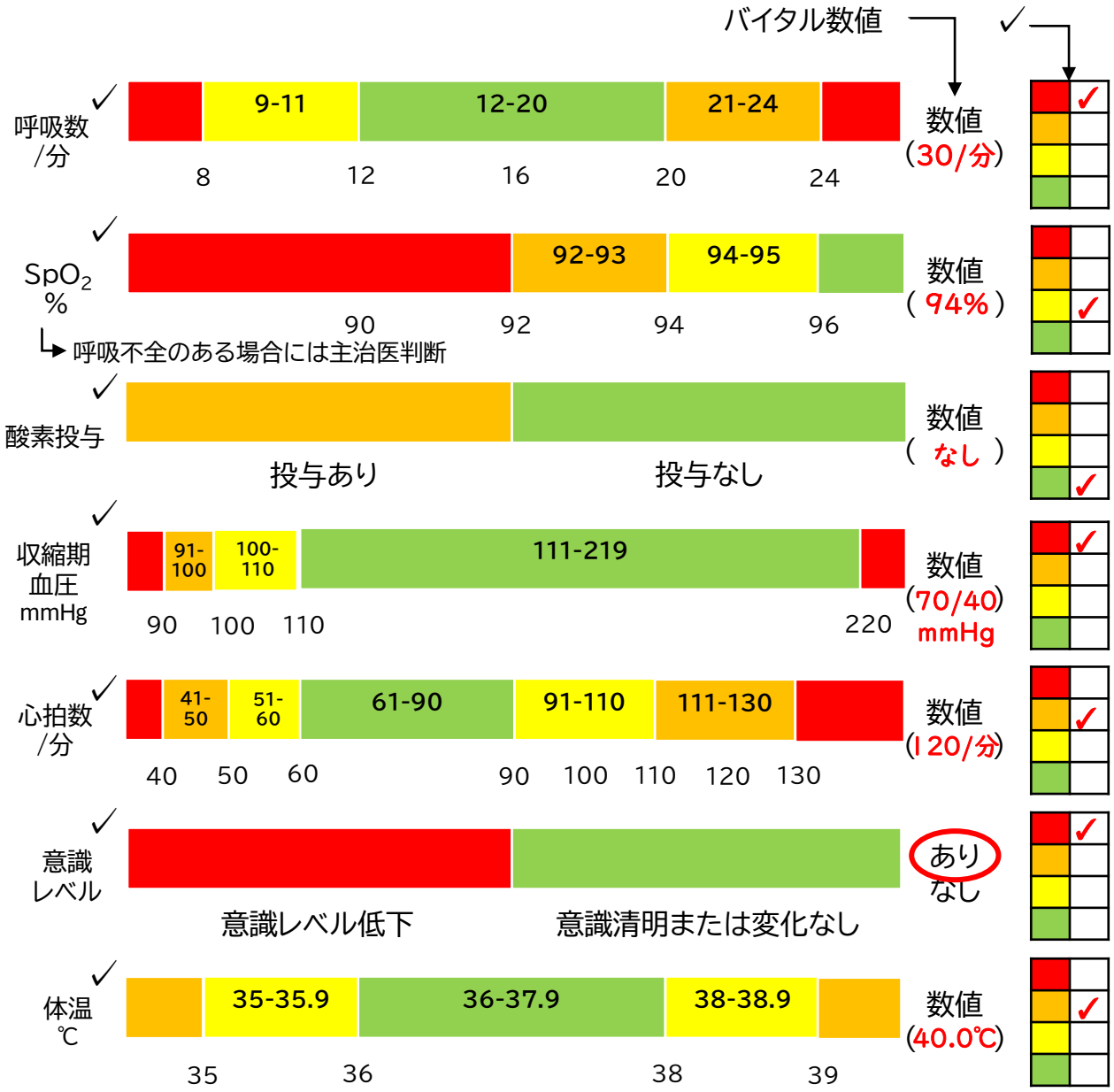
NEWSチェックリスト



該当数→				
計算↓	×3	×2	×1	
	=	=	=	
	合　計=			

判定・判断	≧7点	モニター装着・HCU/ICU移送考慮		行動	
	≧5点	主治医・担当医に直ちに連絡			
	1～4点	バイタルサイン観察2-4検/日・主治医と情報共有			
	0点	現状の継続			

NEWSチェックリスト（回答例）



該当数→	3	2	1	
計算↓	×3	×2	×1	
	= 9	= 4	= 1	
	合　計= 14			

判定・判断	≧7点	モニター装着・HCU/ICU移送考慮	✓	行動	✓
	≧5点	主治医・担当医に直ちに連絡			
	1～4点	バイタルサイン観察2-4検/日・主治医と情報共有			
	0点	現状の継続			

ISBAR

項目			例示
I	introduction/ identification	自己紹介	担当看護師の〇〇です。
S	situation	状　況	病棟の患者さんが発熱と意識レベルの低下を認めます。
B	background	背　景	この方は3日前に腰椎圧迫骨折で入院した60歳女性です。
A	assessment	評　価	NEWS14点で緊急性があると考え、RRSを起動します。
R	recommendation	提　案	RRT として診察をお願いします。

NEWS(National Early Warning Score)

スコア	3	2	1	0	1	2	3
呼吸数（回/分）	≦8		9-11	12-20		21-24	≧25
SpO_2 (%)	≦91	92-93	94-95	≧96			
酸素投与		あり		なし			
収縮期血圧（mmHg）	≦90	91-100	101-110	111-219			≧220
心拍数（回/分）	≦40		41-50	51-90	91-110	111-130	≧131
意識レベル				変化なし			低下
体温（℃）	≦35		35.1-36.0	36.1-38.0	38.1-39.0	≧39.1	

（各点数における、対応についての参考基準）

≧7点 モニタ装着・HCU/ICU移送考慮、RRTに連絡　≧5点 主治医・担当医に連絡

≧1～4点 バイタルサイン観察2～4検/日・主治医と情報共有　0点 現状の継続